

CDによる施設間連携の アンケート調査

日本IHE協会普及推進委員会

奥 真也

はじめに

昨今、臨床現場においてCD等の可搬媒体を用いた施設間の診療情報の受け渡しが広まりつつある。実際の臨床現場で、メディアが読めない、などの問題が起きているという事実があり、日本IHE協会としてもその現状を把握したい。

方法

期間 平成20年5月10日から6月末

対象 医療機関

日本IHE協会公式サイト <http://www.ihe-j.org/>
上のアンケートフォームからの入力

告知方法 同サイト、2008/4のCyberRad会場における告知、日本放射線技術学会のmailing list

結果

28施設からの有効な回答があった。

病院(大学病院を含む) 20

診療所 3

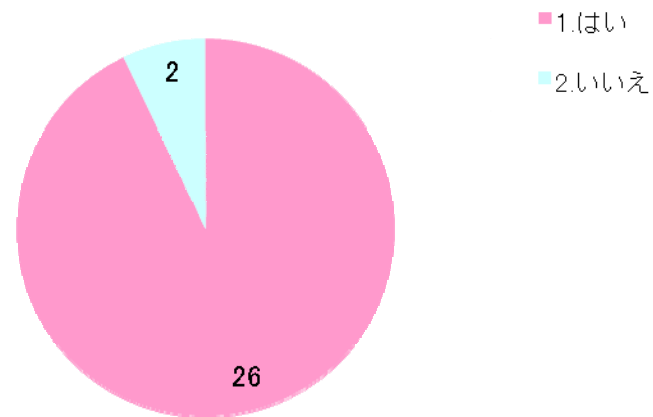
その他 5

設立主体 公立および準公立 15

私立等 11

その他1 不明1

可搬媒体(CD-R, DVD, FD, その他)による画像情報の電子的な提供を行っていますか



結果

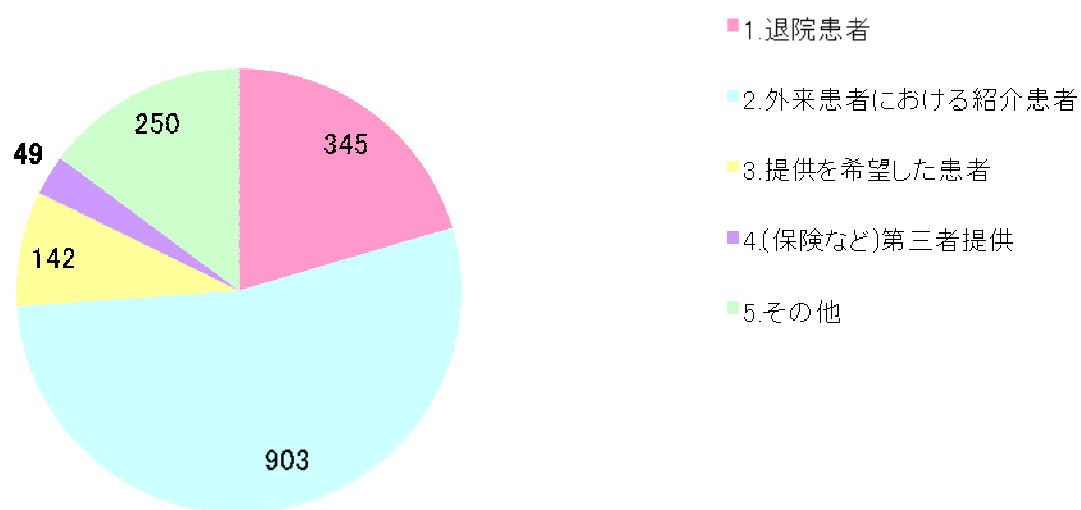
可搬媒体による画像診断提供

行っている 26施設(93%)

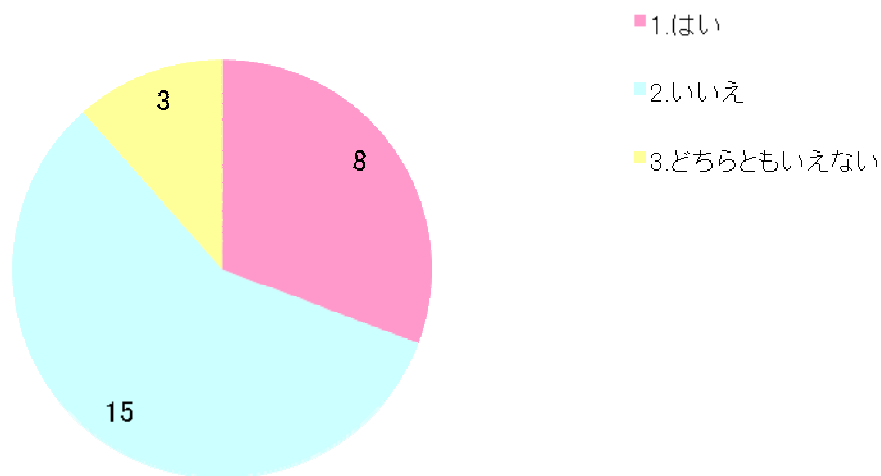
行っていない 2施設(7%)

提供する対象者(先)は誰(どこ)ですか

すべての提供数を100としたおおよその比率でご回答
下さい



特定の医療圏のみでのやりとりですか
(具体的には、群・市医師会などによる取り決め、特定の医療機関相互における契約関係などによって明確な形で連携を行っている状況を指します)



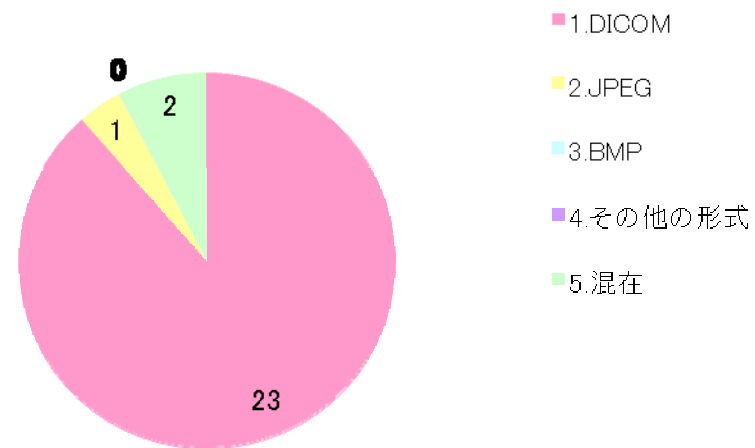
結果

特定の医療圏のみでのやりとりかどうか

YES 8施設(29%)

NO(非特定) 20施設(71%)

提供画像のファイル形式は何ですか (複数選択可)

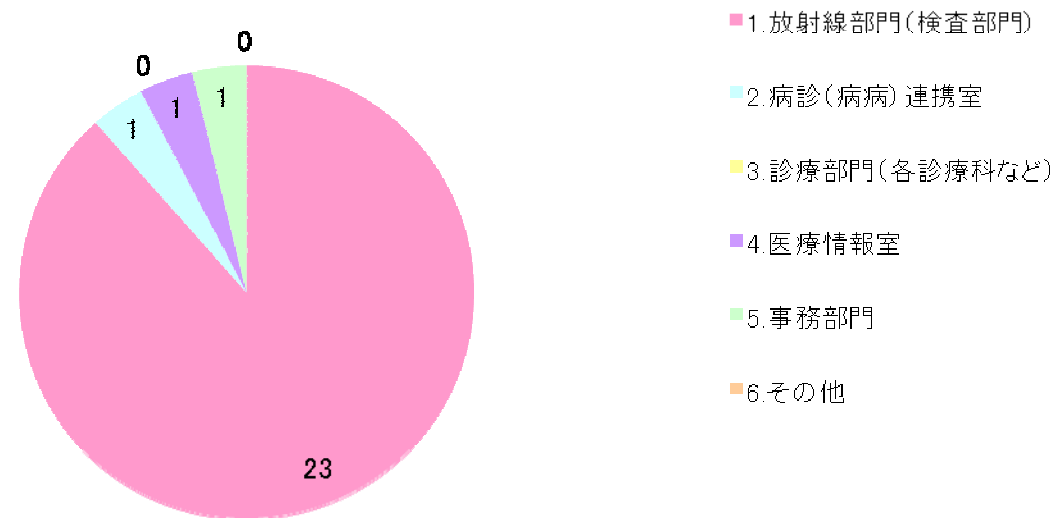


結果

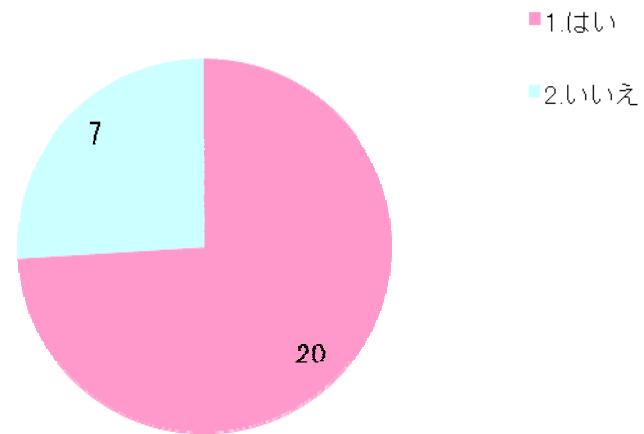
やり取りの形式は？

| | |
|-----------|-----|
| DICOM | 82% |
| 混在、非DICOM | 18% |

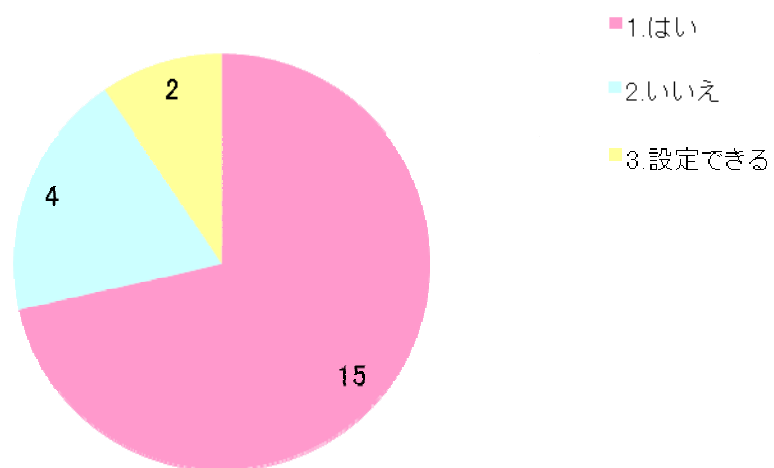
可搬媒体を作成する担当部署はどこですか



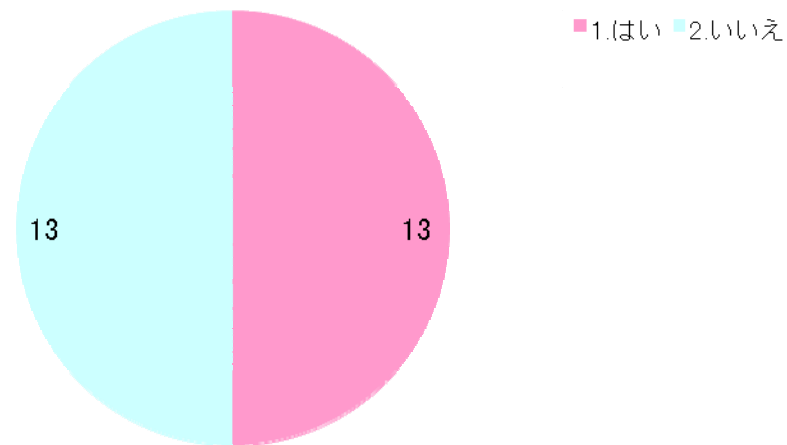
提供する可搬媒体には Viewer Softwareが入っていますか



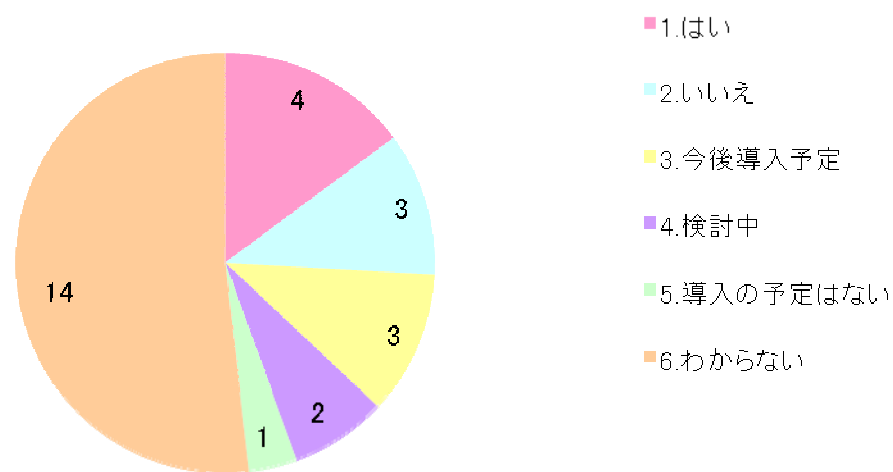
Viewer Softwareは自動起動しますか



IHEのPDI (Portable Data for Imaging) 統合プロファイルを知っていますか



IHEのPDI (Portable Data for Imaging) 統合プロファイルに対応している機器 (システム) を導入していますか



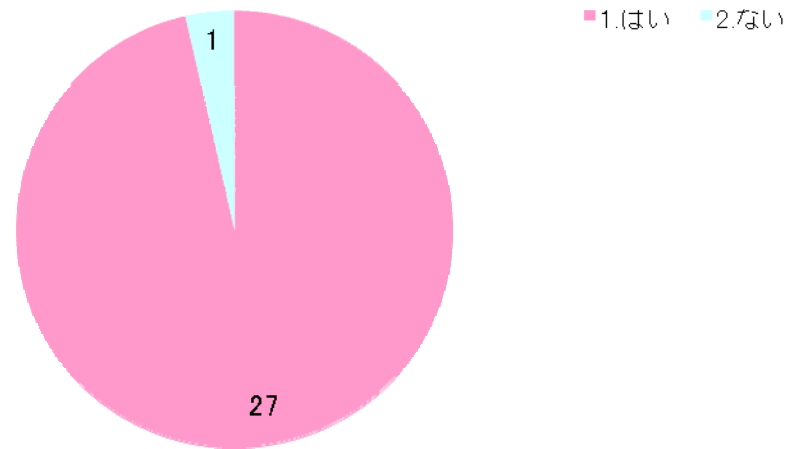
結果

PDIについて

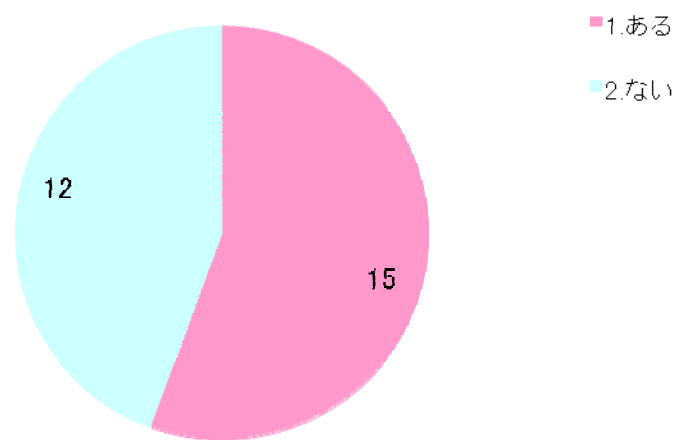
| | |
|------------------|-----|
| PDIを使用してやりとりしている | 15% |
| 導入検討中 | 14% |

PDIを知っている 50%

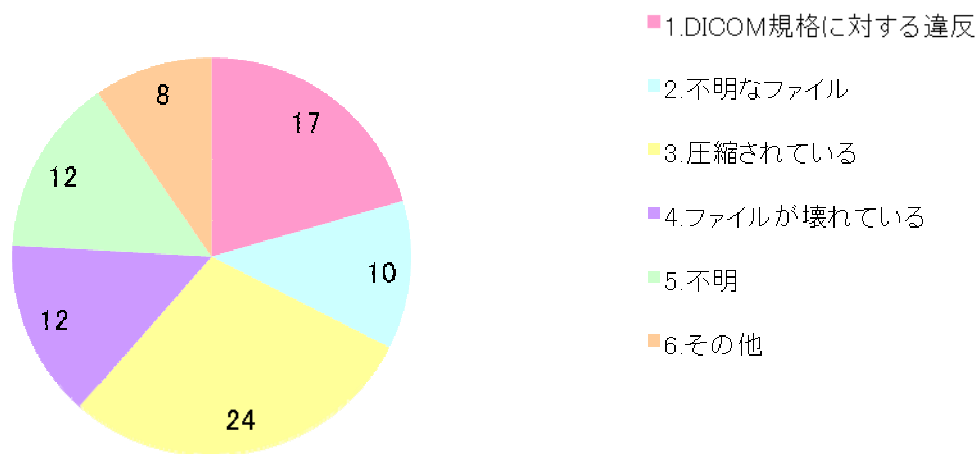
可搬媒体(CD-R, DVD, FD, その他)による画像情報の電子的な提供を受けたことがありますか



届いた可搬媒体（CD-R, DVD, FD, その他）が読めなかったことはありますか



技術的な原因において、頻度の高い順 に番号をご記入下さい



結果

受け渡し上のトラブルについて

可搬媒体が読めない経験あり 54%

内訳

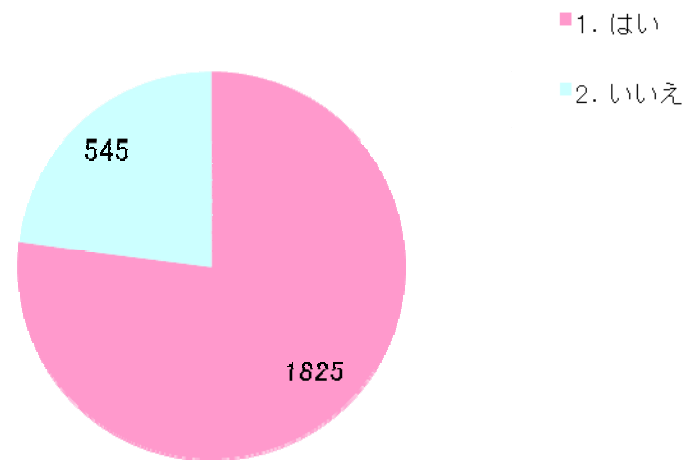
DICOM違反 23%

その他 ファイルが壊れている

圧縮されている

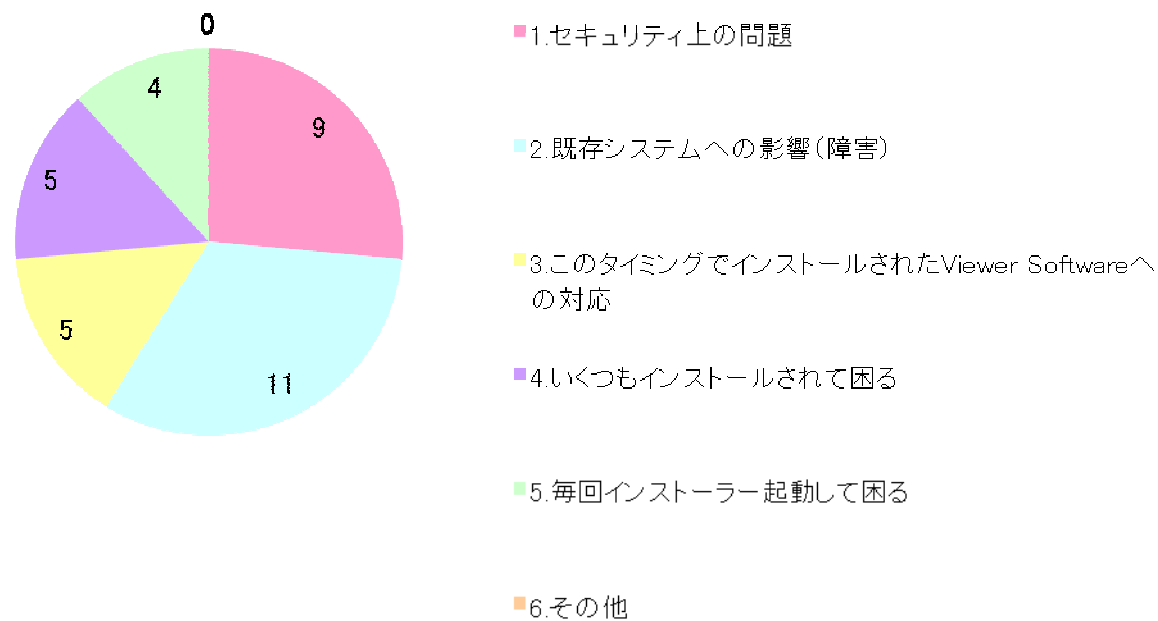
不明なファイル形式である。

提供された可搬媒体にはViewer Softwareが 入っていましたか (およその比率でご回答下さい)

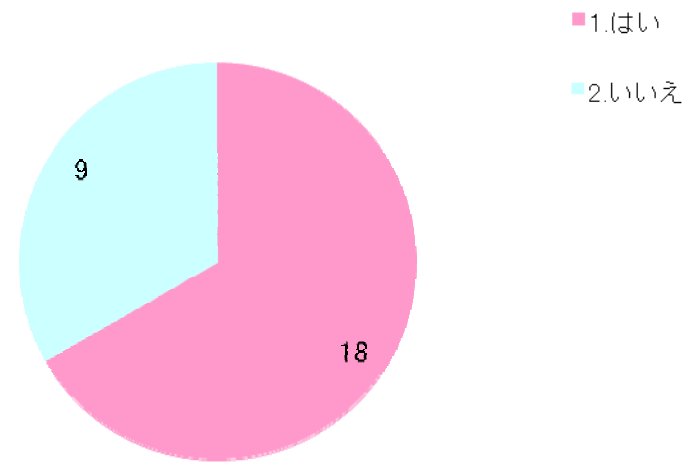


困る理由は何ですか

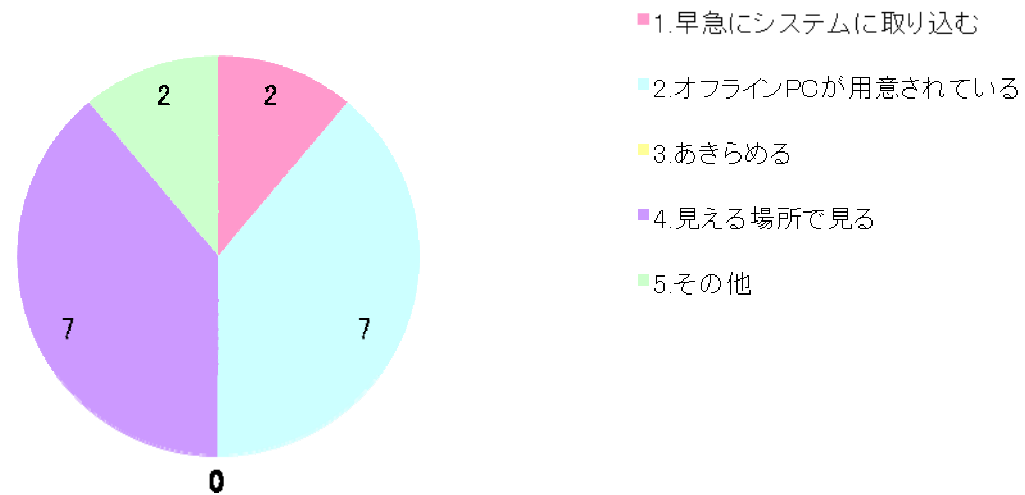
(複数選択可)



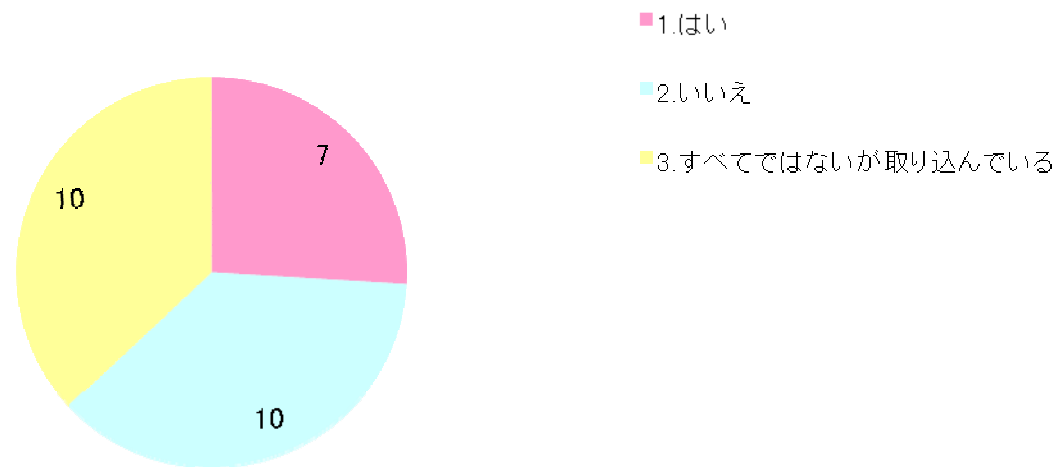
貴施設では、端末での可搬媒体の利用制限を行っていますか



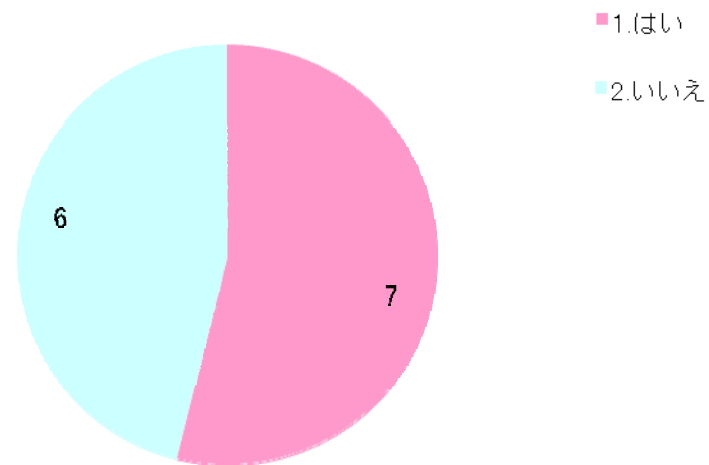
貴施設のセキュリティポリシーなどによって可搬媒体の利用制限を行っている場合、診察室に持ち込まれた画像情報をどのようにして見えていますか



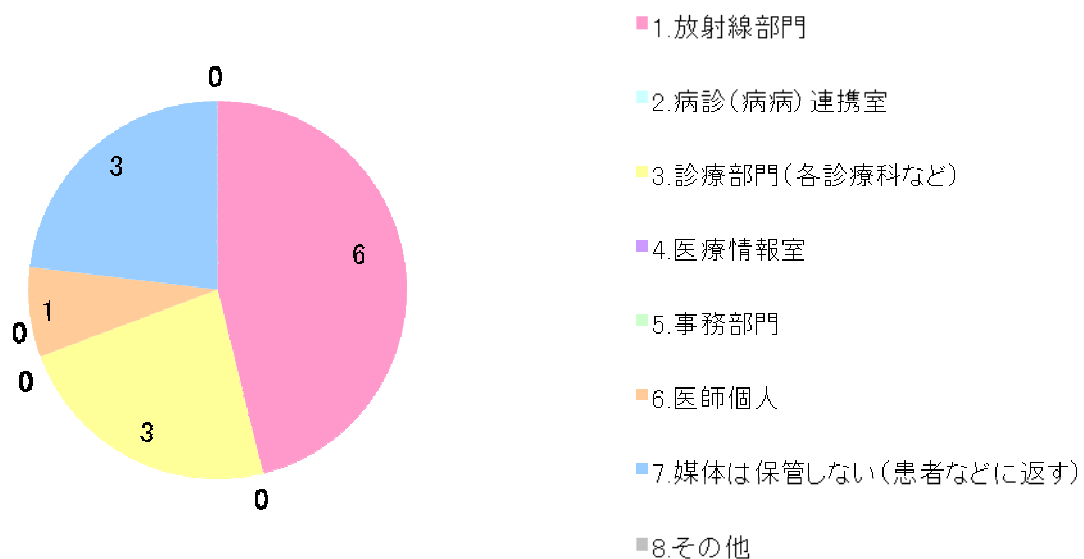
提供された画像情報を貴施設のシステムに取り込んでいますか



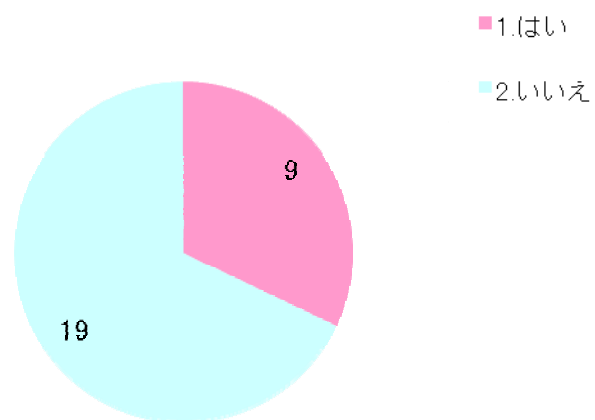
ウィルスに対して防止措置をされていますか



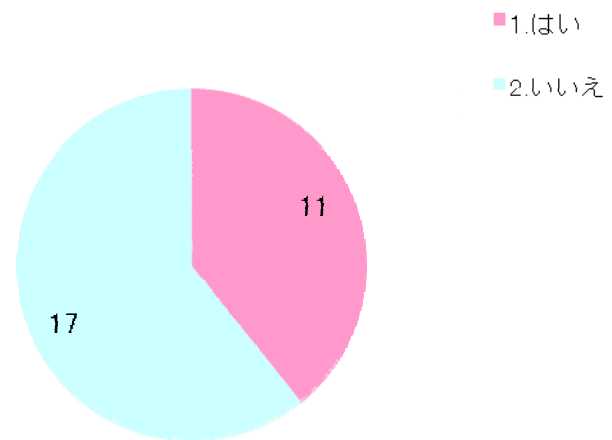
提供された可搬媒体の保管・保存はどこで行っていますか



可搬媒体を利用した医用画像の連携において他施設からのクレームに対する窓口を設けていますか



これまでにクレームはありましたか



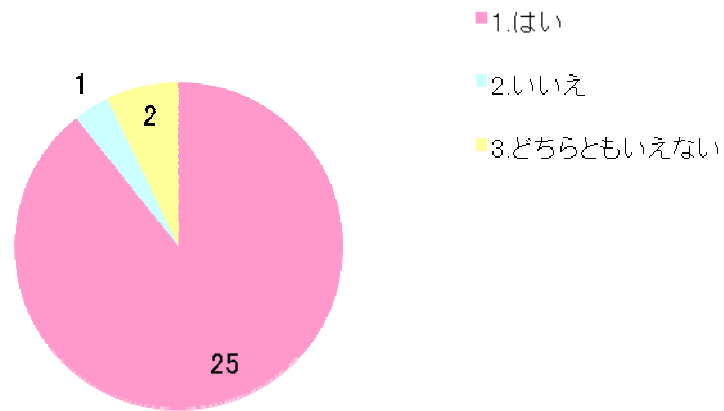
結果

Virusチェックと受け渡し後の処理

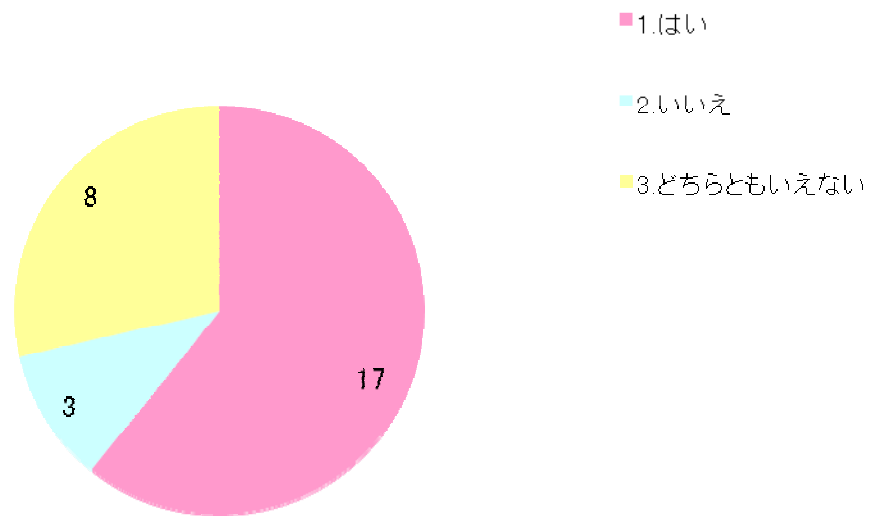
自施設に取り込んでいる 61%

ウイルス防止措置をしている 53%

可搬媒体でのやりとりに標準化の必要性を感じますか



可搬媒体でのやりとりに法規制の必要性を感じますか



結果

可搬媒体のやり取りに

標準化の必要を感じる 89%

法規制等の必要性を感じる 61%

まとめ

日本IHE協会では医療機関に対する可搬媒体による施設間連携のアンケートを行った。

回答のあった医療機関(28機関)のうち、93%の医療機関ですでにやり取りを行っているが、54%で問題のあるケースを経験しており、標準化の必要性を89%、法規制等の必要性を61%が感じていた。

今後、こういった医療機関の現状を踏まえた、安全かつ有効な画像情報提供の普及が望まれる。

